

グリーン調達・グリーン購買の推進

公正・公明を基本とした「購買基本方針」、「地球に優しくクリーンで安全な原材料・部品調達を基本とした調達方針」に基づいた活動を展開しています。原材料調達では「ISO14001」認証取得企業を優先し、廃棄物の削減、環境配慮された事務用品、車両の購入を進めています。

グリーン調達の推進

グリーン調達方針

地球環境に優しい、クリーンで安全な原材料、部品、包装材等を調達する。

- 1 調達品購入に当たっては、サプライヤー各社の環境マネジメントシステムの導入運用状況を判断基準にする。
- 2 環境負荷物質含有防止の徹底を図る。
- 3 環境配慮型用品の購入を促進する(グリーン購入)。
- 4 廃棄物を削減する。

グリーン調達ガイドラインの制定・運用

環境負荷低減活動の精度を上げるため、購入先から環境負荷の少ない製品を調達する目的で「2002年グリーン調達要領」を制定、運用してきました。2005年3月に、ELV指令、RoHS指令に対応するため全面改訂し、お取引先に対する要請を標準化しました。

■ 環境マネジメントシステムの調査

各原材料メーカーに対し環境マネジメントシステムの認証取得の調査を実施しました。その結果、原材料メーカーの64%が認証取得済みです。認証未取得メーカーに対しては、環境マネジメントシステムの早期取得と環境調査票に基づく32項目を調査評価し、環境保全への取り組み状況を確認しています。2006年度は20社を監査予定です。

環境負荷物質含有防止の徹底

横浜ゴムが定めた「禁止・制限化学物質ガイドライン」に基づき、1,767品目の物質について禁止・制限・削減・管理などに分類し、厳密に管理しています。この内、禁止・制限物質は724品目あり、原材料・副資材において、これらが含有されない処置及び保証業務を取引先と協力して実施しています。2006年3月末時点で、タイヤ関係208社、MB関係321社から購入する原材料について、ELV指令の基準値を超えない確認を行いました。

■ 廃棄物の削減

原材料梱包材の削減による廃棄物の圧縮に取り組んでいます。

2005年度は原材料運搬に使用している木製パレットを鉄製パレットへ変更して、廃棄物の減量に努めました。2005年度、平塚製造所に運ばれるシリカの梱包材改善により、廃棄物を年間19.2トン削減しました。

カーボンブラック容器の変更



カーボンブラック容器をジャンボバッグ(左)からバルクライナー(右)に変更することで、廃材(木製パレット、ポリエチレンシート)の量を97%削減しました。

■ 購買物流業者への要請

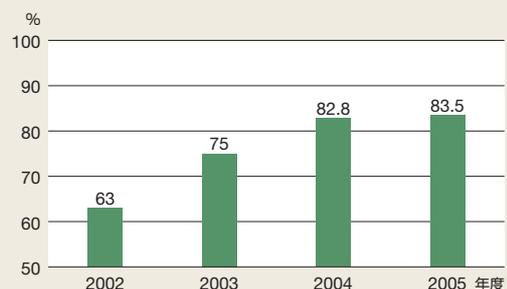
運送業者に対しアイドリング中止を促し、環境汚染、近隣騒音を考慮した対策を実施しています。

グリーン購買の推進

■ 環境配慮型事務用品の購入

2005年度の環境配慮型事務用品の購入比率は83.5%となり、環境配慮型商品への意識が年々向上しています。

環境配慮型事務用品の購入比率の推移



■ 環境配慮型車両の購入

現在、タイヤ開発用に購入する車両は、規制適合車のみを購入しています。現在保有している車両のうち、低燃費・低公害車の比率は約90%で、2005年度に購入した車両は29台です。順次切り替えていきます。